

ほんよも No. 005



桂陽高校図書キャラクター
「ほんよも」



いい本がたくさん入りました！

夏休みまであとわずかとなりました。いつもより短いとはいえ、まとまった時間が取れる貴重な期間です。この機会に本を読んでみませんか。図書室には、新しい本がたくさん入荷しました。ごく一部ですが、紹介します。

【漫画】

- キングダム (原泰久) 11~20……言わずと知れた、古代中国の壮大なドラマ。
- リアル (井上雄彦) 1~14……スラムダンクの作者による、車イスバスケット漫画。
- はだしのゲン (中沢啓治) 1~7……原爆の恐ろしさを描いた名作。
- ツレがうつになりまして。(細川貂々)……うつ病になった夫を支える妻の奮闘記。

【小説】

- マチネの終わりに (平野啓一郎)……上質な恋愛小説。福山雅治主演で映画化。
- 2.43 (壁井ユカコ)……地方公立校の弱小バレー部の闘いを描く。
- 暗いところで待ち合わせ (乙一)……全盲の女性の家に殺人犯が転がり込む。
- 首都感染 (高島哲夫)……強毒性のインフルエンザが世界流行。まるで予言の書。
- 葉桜の季節に君を想うということ (歌野晶午)……どんでん返しの名作。最後でびっくり！
- 黒い家 (貴志祐介)……狂った中年女性がどこまでも追いかけてくる！ 超絶ホラー。
- イニシエーション・ラブ (乾くるみ)……ただの恋愛小説かと思っていたら最後で騙される！
- 十二国記シリーズ (小野不由美)……大人も夢中で読める中国風異世界ファンタジー。
- シャトゥーン ヒグマの森 (増田俊也)……狂暴化した巨大ヒグマがひたすら襲ってくる！
- 夏の祈りは (須賀しのぶ)……公立高校野球部が悲願を果たすまでのドラマ。
- 僕は上手にしゃべれない (椎野直弥)……吃音の少年が
- 傲慢と善良 (辻村深月)……婚活で知り合った婚約者が突然失踪。彼女は一体どこへ？
- medium 霊媒探偵 城塚翡翠 (相沢沙呼)……完全に読者が騙されるすごいミステリー。
- ジョーカー・ゲーム (柳広司)……日本のスパイたちが頭脳戦を繰り広げる！
- ライオンのおやつ (小川糸)……余命を宣告された女性が最後の幸せなひと時を過ごす。
- 流浪の月 (凧良ゆう)……右ページを参照。

～この人でなければならぬ、という関係～ 『流浪の月』 風良ゆう

内容・あらすじ

主人公は、家内更紗（かないさらさ）という女性と、佐伯文（さえきふみ）という男性です。

やや風変わりな、でも幸せな家庭で育った更紗。しかしその幸せは9歳の時に終わり、親戚の家に預けられることに。そこは更紗にとって牢獄のような場所でした。

帰りたくない更紗は、公園で19歳の大学生、文と出会い、一人暮らしの文の家へ。文の家がこの上なく安らげる場所だったため、更紗は文の家にそのまま居着きます。

更紗は再び幸せな生活を手に入れ、文と仲良く（健全な関係だったという点がポイント）暮らします。しかし更紗の搜索願が出され、誘拐事件として警察が捜査を始めます。

ある日、二人で動物園に出かけた時、多くの人の前で文は警察に逮捕され、二人は引き離されます。その様子を多くの人が携帯で撮影し、ニュースやネットで拡散されてしまいます。

時は流れて約10年後、二人は運命のいたずらで偶然再会します。立場的には「かつて誘拐した犯人と、誘拐された少女」という二人がまた関係を築いていくのですが……。

川口先生の感想

文が逮捕されるまではむしろ前ふりで、二人が再会してからが物語の本番です。「この二人は、最終的にいったいどうなってしまうんだろう」と心配で心配で、光の速さでページをめくりました。一日で読み終わりました。結果、読者が納得できる結末にはなるのですが、そこに行き着くまで、二人を様々な苦難が襲います。特に「デジタルタトゥー」による偏見や無理解が、二人を苦しめます。現代に特有の問題だと思いました。

二人の関係が「恋愛ではないが、でもお互いこの相手でなければダメなんだ」という点がこの話の最大のポイントで、最大の特徴です。

他にも、二人が再会した本当の理由とか、文の隠された真実とか、驚くポイントがたくさん。心理描写も設定もストーリーも絶妙です。今年の「本屋大賞」を受賞した作品です。

